

11-3. 図書館

(1) 施設の概要

図書館は、図書館法に基づいて市民の学習及び多様な文化活動に資するため、資料の閲覧、貸出、レファレンスサービスのほか、おはなし会・講座・講演会の開催、学習・研究の場の提供など、児童、学生から一般、高齢者まで、あらゆる市民に対して各種の図書館サービスを提供している施設です。

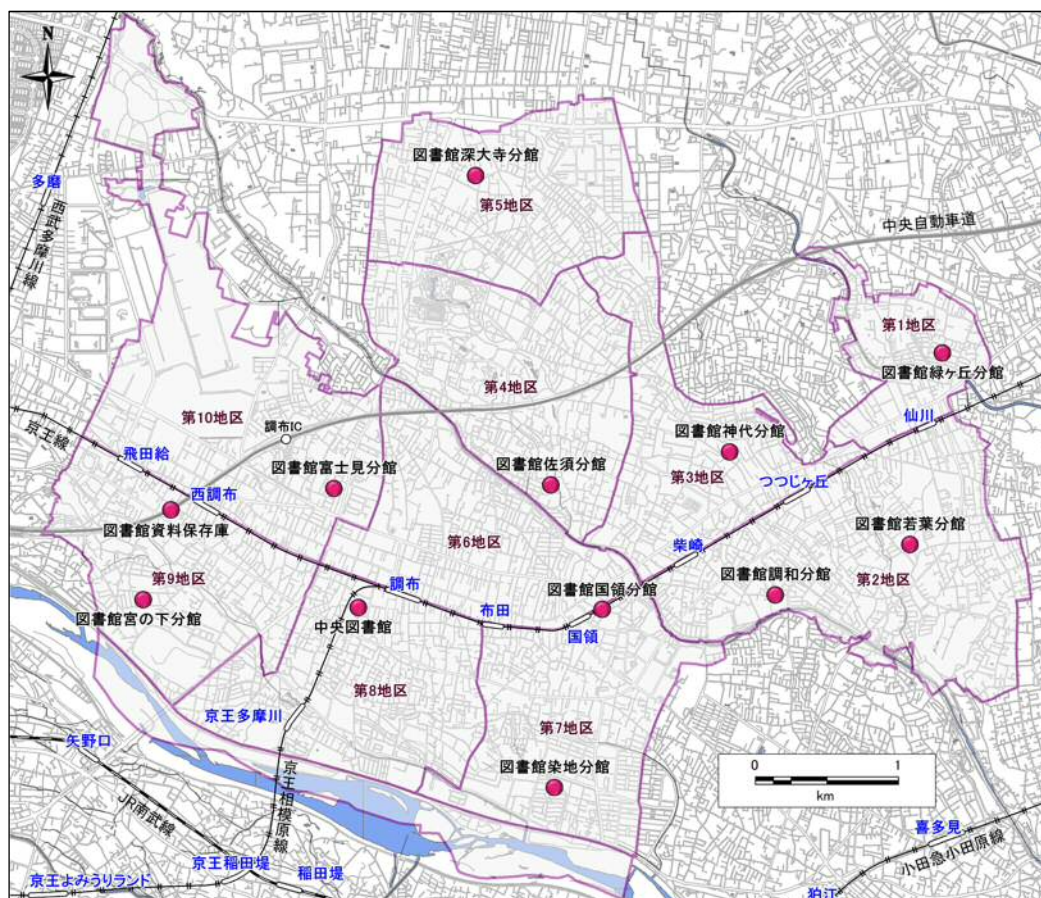


図書館佐須分館

中央図書館と10の分館があり、文化会館たづくり内にある中央図書館は、調布駅の近くに立地しています。

分館は、3つの原則（人口2万人に1館、半径800m圏内に1館、2つの小学校区に1館）に基づいて設置しており、その他、蔵書保管のための資料保存庫を設置しています。

【図表 3-II-240】施設配置図



【図表 3-II-241】 施設配置等に関する情報

施設名称	町丁目	広域的地域 (4区分)	基礎的地域 (10区分)	生活地区 (20区分)	開館時間(通常)	定期休館日(通常)
中央図書館	小島町2丁目	南部地域	第8	富士見台小	平日・土曜・日曜・祝日 9:00~20:30	毎月第4月曜及び翌日 年末年始
図書館国領分館	国領町3丁目	南部地域	第7	国領小	月曜を除く平日・土曜・日 曜・祝日 9:00~17:00 (4月~9月の水曜・金曜は 18:00まで)	毎週月曜及び毎月第4月 曜の翌日・年末年始
図書館調和分館	西つじヶ丘4丁目	東部地域	第2	調和小		
図書館深大寺分館	深大寺北町5丁目	北部地域	第5	北ノ台小		
図書館神代分館	西つじヶ丘1丁目	東部地域	第3	上ノ原小		
図書館宮の下分館	上石原3丁目	西部地域	第9	第三小		
図書館緑ヶ丘分館	緑ヶ丘2丁目	東部地域	第1	緑ヶ丘小		
図書館富士見分館	富士見町2丁目	西部地域	第10	石原小		
図書館若葉分館	若葉町3丁目	東部地域	第2	若葉小		
図書館染地分館	染地3丁目	南部地域	第7	杉森小		
図書館佐須分館	佐須町4丁目	北部地域	第4	柏野小		
図書館資料保存庫	上石原2丁目	西部地域	第9	第三小	-	-

各施設の蔵書能力及び諸室別施設規模は【図表 3-II-242】のとおりです。蔵書能力は市内全施設及び資料保存庫の合計で約 102 万 7,000 冊であり、中央図書館には 40 万冊、各分館にはそれぞれ 3 万~5 万冊規模で配架しています。

集会室を有する 5 つの分館では、学習、会議など、住民の活動拠点として集会室の貸出しを行っています。

【図表 3-II-242】 各施設の蔵書能力及び諸室別施設規模

施設名称	蔵書能力 (冊)	諸室別施設規模					
		一般室	子ども室	集会室	成人用 座席	児童用 座席	おはなし 室
中央図書館	開架 150,000冊 閉架 250,000冊	1,350 m ²	140 m ²	-	72 席	28 席	35 m ²
図書館国領分館	37,000 冊	175 m ²	91 m ²	-	18 席	9 席	20 m ²
図書館調和分館	38,000 冊	131 m ²	43 m ²	-	12 席	12 席	11 m ²
図書館深大寺分館	50,000 冊	195 m ²	61 m ²	36 m ²	28 席	6 席	20 m ²
図書館神代分館	33,000 冊	140 m ²	68 m ²	34 m ²	26 席	17 席	25 m ²
図書館宮の下分館	31,000 冊	130 m ²	56 m ²	19 m ²	12 席	12 席	18 m ²
図書館緑ヶ丘分館	33,000 冊	120 m ²	64 m ²	-	12 席	12 席	20 m ²
図書館富士見分館	33,000 冊	140 m ²	88 m ²	25 m ²	12 席	17 席	-
図書館若葉分館	44,000 冊	173 m ²	123 m ²	51 m ²	16 席	24 席	32 m ²
図書館染地分館	40,000 冊	153 m ²	105 m ²	-	12 席	16 席	-
図書館佐須分館	開架 38,000冊 閉架 50,000冊	245 m ²	80 m ²	-	24 席	8 席	25 m ²
図書館資料保存庫	200,000 冊	電動式書架室260m ² 、固定式書架室200m ²					

出典：「平成 24 年度版 数字で見る図書館活動」（平成 25 年 3 月 31 日時点）調布市立図書館

【図表 3-II-243】 集会室の定員及び利用可能時間帯

施設名称	定員	午前	午後	夜間
		9:00~ 12:00	13:00~ 17:00	18:00~ 21:00
図書館深大寺分館	20	○	○	○
図書館神代分館	30	○	○	
図書館宮の下分館	8	○	○	○
図書館富士見分館	8	○	○	○
図書館若葉分館	15	○	○	

深大寺分館
集会室



(2) 土地の状況

12 施設のうち、緑ヶ丘分館と染地分館、図書館資料保存庫を除く 9 施設が市有地に立地しています。緑ヶ丘分館と染地分館は、東京都が保有する敷地の一部を行政財産使用許可によって使用しています。図書館資料保存庫は、中央自動車道の高架下の敷地を使用しています。

【図表 3-II-244】土地の状況に関する情報

施設名称	敷地の保有形態	敷地面積(m ²)	市有地面積(m ²)	市有地の割合(%)	【参考】主な用途地域 ()内は建ぺい率、容積率
中央図書館	市の他施設の敷地 (文化会館たづくり)	-	-	-	近隣商業地域(80%, 300%)
図書館国領分館	市の他施設の敷地 (第五保育園)	-	-	-	第一種中高層住居専用地域(60%, 150%)
図書館調和分館	市の他施設の敷地 (調和小学校)	-	-	-	第一種中高層住居専用地域(60%, 200%)
図書館深大寺分館	全て市有地	1,506.40	1,506.40	100.0%	第一種低層住居専用地域(40%, 80%)
図書館神代分館	市の他施設の敷地 (神代保育園)	-	-	-	第一種低層住居専用地域(40%, 80%)
図書館宮の下分館	市の他施設の敷地 (宮の下保育園)	-	-	-	第一種低層住居専用地域(40%, 80%)
図書館緑ヶ丘分館	行政財産使用許可	800.36	-	-	第一種中高層住居専用地域(60%, 200%)
図書館富士見分館	市の他施設の敷地 (富士見保育園)	-	-	-	第一種低層住居専用地域(40%, 80%)
図書館若葉分館	全て市有地	728.32	728.32	100.0%	第一種低層住居専用地域(40%, 80%)
図書館染地分館	行政財産使用許可	市有地以外	-	-	第一種中高層住居専用地域(50%, 100%)
図書館佐須分館	市の他施設の敷地 (佐須児童館・学童クラブ)	-	-	-	第一種低層住居専用地域(40%, 80%)
図書館資料保存庫	全て借地	1,067.00	-	-	第一種中高層住居専用地域(60%, 150%) 第一種低層住居専用地域(50%, 100%)
合計		4,102.08	2,234.72	54.5%	

(3) 施設・建物の状況

1) 施設量及び施設形態

図書館の総延床面積は、全体で 8,880 m²、うち中央図書館が約 4,370 m²、分館は 1 施設当たり平均 403 m²となっております。建物は、染地分館のみ東京都が保有する建物の一部を使用しており、それ以外の図書館の建物は全て市が保有しています。

12 施設のうち 8 施設が他の公共施設と複合しており、文化会館たづくり、保育園、地域福祉センター、児童館・学童クラブ、ふれあいの家、小学校と複合しています。

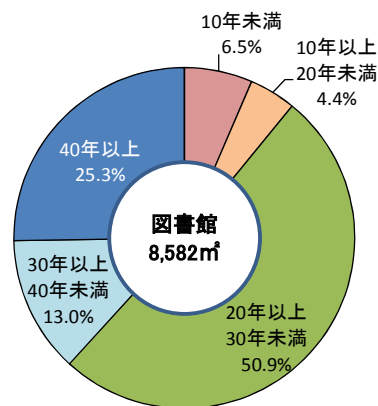
調和分館は、調和小学校 PFI 事業（学校の統廃合に際して地域の生涯学習拠点としての公共機能等を集約）において、小学校と複合した地域開放施設として整備されています。

3) 建物性能

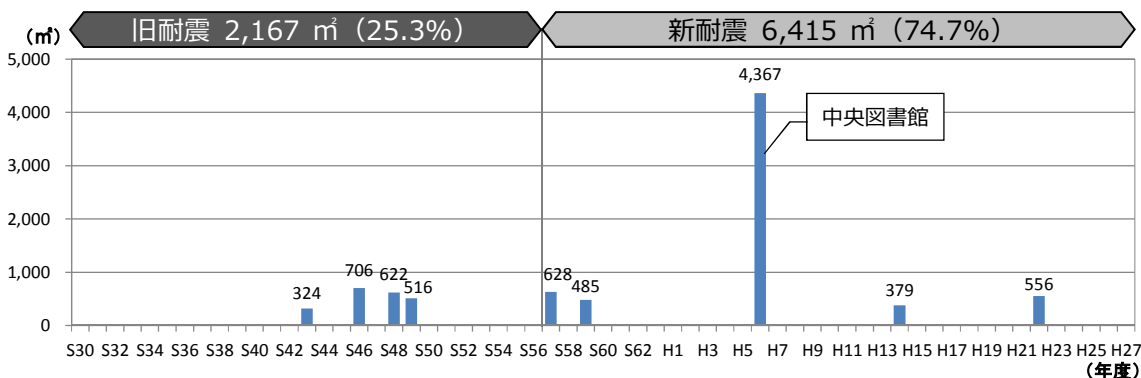
図書館全体の延床面積の 38.3%が建設後 30 年以上経過, 25.3%が建設後 40 年以上経過している状況です。

旧耐震基準の建物の延床面積は, 全体の 25.3%を占めていますが, いずれの建物も耐震診断の結果, 耐震改修を実施済みです。

【図表 3-II-247】建設後経過年数の割合 (市有施設の集計)



【図表 3-II-248】建設年度別延床面積 (市有施設の集計)



バリアフリーについては, 中央図書館は調布市バリアフリー特定事業計画に基づいて対応しています。保育園と複合化している分館 4 館は建物の 2 階に位置しており, 単独館で 2 階建ての若葉分館を含めて 5 施設が施設の利用に階段の使用を要する状況になっています。深大寺分館, 佐須分館, 調和分館については, 概ねバリアフリー対応しています。

【図表 3-II-249】建物性能に関する情報

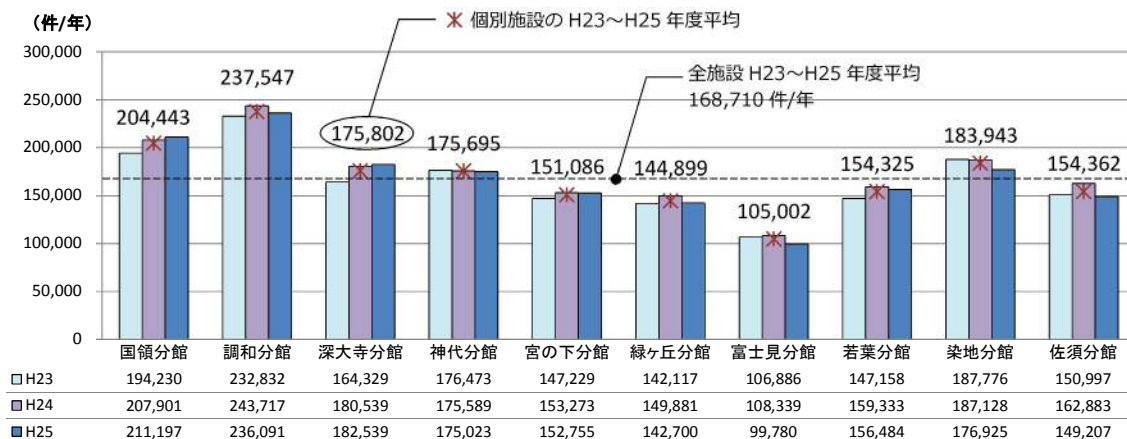
(保有施設のみ) (○=対応済, △=一部対応, ×=未対応, -=該当なし)

施設名称	建物名称	建設時期		耐震基準	バリアフリー対応の状況						
		建設年度	経過年数		玄関	駐車場	通路	階段	EV	WC	標示
中央図書館	文化会館たづり	H6	20	新耐震	○	○	○	○	○	○	○
図書館国領分館	第五保育園・図書館国領分館	S43	46	旧耐震	×	×	×	○	×	×	×
図書館調和分館	調和小学校(北校舎)・図書館調和分館	H14	12	新耐震	○	○	○	△	-	○	○
図書館深大寺分館	図書館深大寺分館	H22	4	新耐震	○	○	○	-	-	○	○
図書館神代分館	神代保育園・図書館神代分館(保育園・分館)	S46	43	旧耐震	×	×	×	×	×	×	×
図書館宮の下分館	宮の下保育園・図書館宮の下分館	S46	43	旧耐震	×	×	×	×	×	×	×
図書館緑ヶ丘分館	図書館緑ヶ丘分館	S48	41	旧耐震	×	-	×	-	-	×	○
図書館富士見分館	富士見保育園・図書館富士見分館	S48	41	旧耐震	×	-	×	×	×	×	×
図書館若葉分館	図書館若葉分館	S49	40	旧耐震	×	-	×	○	×	×	○
図書館染地分館	染地地域福祉センター・図書館染地分館	-	-	保有施設以外	△	×	×	-	-	○	×
図書館佐須分館	佐須児童館・学童クラブ・佐須ふれあいの家・図書館佐須分館	S57	32	新耐震	○	×	△	○	○	○	○
図書館資料保存庫	図書館資料保存庫	S59	30	新耐震	-	-	-	-	-	-	-

(4) 施設利用の状況

各分館の年間貸出数は【図表 3-II-250】のとおりです。全施設の平成 23 年度～平成 25 年度の平均貸出数は、約 16 万 9,000 件/年です。

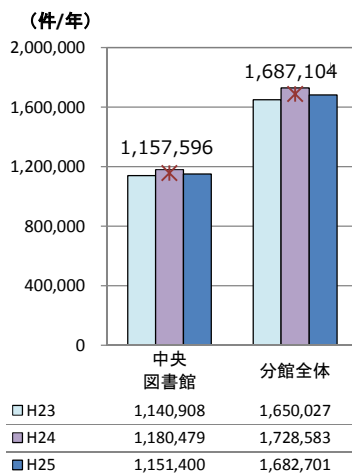
【図表 3-II-250】各分館の年間貸出数の比較



分館全体の年間貸出数は中央図書館のおよそ 1.5 倍となっています。

【図表 3-II-251】中央図書館と分館全体の年間貸出数の比較

(平成 23 年度～平成 25 年度の平均)



(5) 管理運営状況

1) 管理運営の概要

図書館の管理運営は、全て市の直営です。

2) 施設の維持における年間コスト

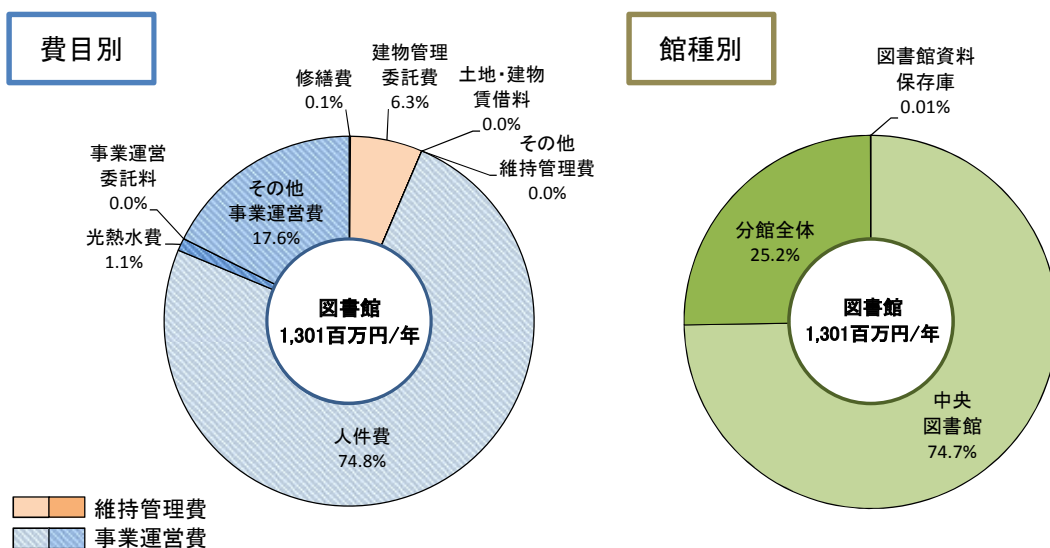
図書館全体における年間の管理運営費（維持管理費＋事業運営費）は、平成23年度～平成25年度の平均で約13億円であり、そのうちの74.8%（約9億7,300万円）を人件費、17.6%（約2億2,900万円）をその他事業運営費（図書の購入等の費用の一部）が占めています。

施設整備相当額を含むフルコストは、年間約13億6,000万円となります。

中央図書館，分館全体における管理運営費の割合はおおよそ3：1です*。

※図書の購入等の費用の一部については、中央図書館に一括計上しています。

【図表 3-II-252】 年間の管理運営費の内訳（平成23年度～平成25年度の平均）



【図表 3-II-253】 施設の維持における年間コストの一覧

(平成23年度～平成25年度の平均)

単位: 千円/年

施設名称	運営形態	維持管理費(a)	事業運営費(b)	管理運営費(c) =a+b	施設整備相当額/年(d)	フルコスト(e) =c+d	事業収入(f)	純コスト(g) =c-f
中央図書館	直営	81,982	890,159	972,140	29,111	1,001,251	0	972,140
図書館国領分館	直営	119	34,436	34,555	2,162	36,717	0	34,555
図書館調和分館	直営	0	34,430	34,430	2,527	36,957	0	34,430
図書館深大寺分館	直営	13	31,805	31,817	3,705	35,522	0	31,817
図書館神代分館	直営	198	34,441	34,639	2,424	37,063	0	34,639
図書館宮の下分館	直営	165	31,812	31,977	2,280	34,257	0	31,977
図書館緑ヶ丘分館	直営	40	31,806	31,846	1,920	33,766	0	31,846
図書館富士見分館	直営	567	29,206	29,773	2,226	31,999	0	29,773
図書館若葉分館	直営	237	34,442	34,679	3,437	38,116	0	34,679
図書館染地分館	直営	13	32,772	32,785	0	32,785	0	32,785
図書館佐須分館	直営	29	31,805	31,834	4,190	36,024	0	31,834
図書館資料保存庫	直営	183	9	192	3,235	3,427	0	192
合計		83,545	1,217,124	1,300,669	57,216	1,357,885	0	1,300,669

3) 単位当たりコスト

図書館の年間の管理運営費を1㎡あたりに換算すると、中央図書館では維持管理費が約1万8,800円/㎡、事業運営費が約20万4,000円/㎡、合わせて約22万3,000円/㎡となります。分館全体を平均すると維持管理費が343円/㎡、事業運営費が約8万1,200円/㎡、合わせて約8万1,500円/㎡となっています。

【図表 3-II-254】 単位当たりコストの一覧

(平成23年度～平成25年度の平均)

施設名称	1㎡当たり 維持管理費 (円/㎡・年)	1㎡当たり 事業運営費 (円/㎡・年)	1㎡当たり 管理運営費 (円/㎡・年)	市民1人当たり フルコスト (円/人・年)	市民1人当たり 純コスト (円/人・年)	貸出1件当たり 純コスト (円/人・年)
中央図書館	18,775	203,856	222,631	4,464	4,334	840
分館全体	343	81,160	81,503	1,575	1,464	195
図書館国領分館	366	106,187	106,553	164	154	169
図書館調和分館	46	50,611	50,657	161	142	206
図書館深大寺分館	0	90,846	90,846	165	154	145
図書館神代分館	23	57,224	57,247	158	142	181
図書館宮の下分館	545	94,716	95,261	165	154	197
図書館緑ヶ丘分館	482	93,026	93,509	153	143	212
図書館富士見分館	139	110,437	110,576	151	142	220
図書館若葉分館	1,699	87,467	89,166	143	133	284
図書館染地分館	460	66,811	67,271	170	155	225
図書館佐須分館	44	109,973	110,017	146	146	178
図書館資料保存庫	376	19	395	15	1	-

(6) 今後見込まれる改修・更新費の試算

図書館の改修・更新（建替え）における将来経費を【図表 3-I-24】(35ページ)の計算方法で形式的に試算した場合、平成27年度以降、今後20年間で約20億700万円の改修費及び約8億6,700万円の更新費の発生が見込まれます。

改修・更新費が集中するのは最初の10年間で31～40年目の期間になります。

【図表 3-II-255】 改修・更新経費の試算

金額の単位：百万円

	改修費	更新費	合計	
			発生額	割合
1～10年目	1,912	0	1,912	31.2%
11～20年目	95	867	962	15.7%
21～30年目	139	445	584	9.5%
31～40年目	0	1,747	1,747	28.5%
41～50年目	81	152	233	3.8%
51～60年目	461	222	683	11.2%
総計	2,687	3,433	6,120	100.0%

(7) 図書館における課題認識

1) 施設の性能・機能の視点からの課題

建物・設備の大規模改修又は更新に当たっては、事業の運営に支障が生じないよう、計画的な保守・保全が必要となります。

2) 施設の配置の視点からの課題

他の施設と複合している施設が多いため、相互のメンテナンス上の調整はもとより、改修や建替えの実施については、複合している施設の動向等も踏まえながら、検討を進める必要があります。

11-4. ユーフォープレイルーム

(1) 施設の概要

ユーフォープレイルームは、児童の放課後の安全で安心な遊び場等を提供し、健全育成を図ることを目的として、小学校の施設の一部を使用して、放課後子ども教室事業「ユーフォー」を実施する施設です。対象児童は各学校に在籍する全児童であり、専用の部屋のほか、学校の状況に応じて校庭や体育館も利用しています。

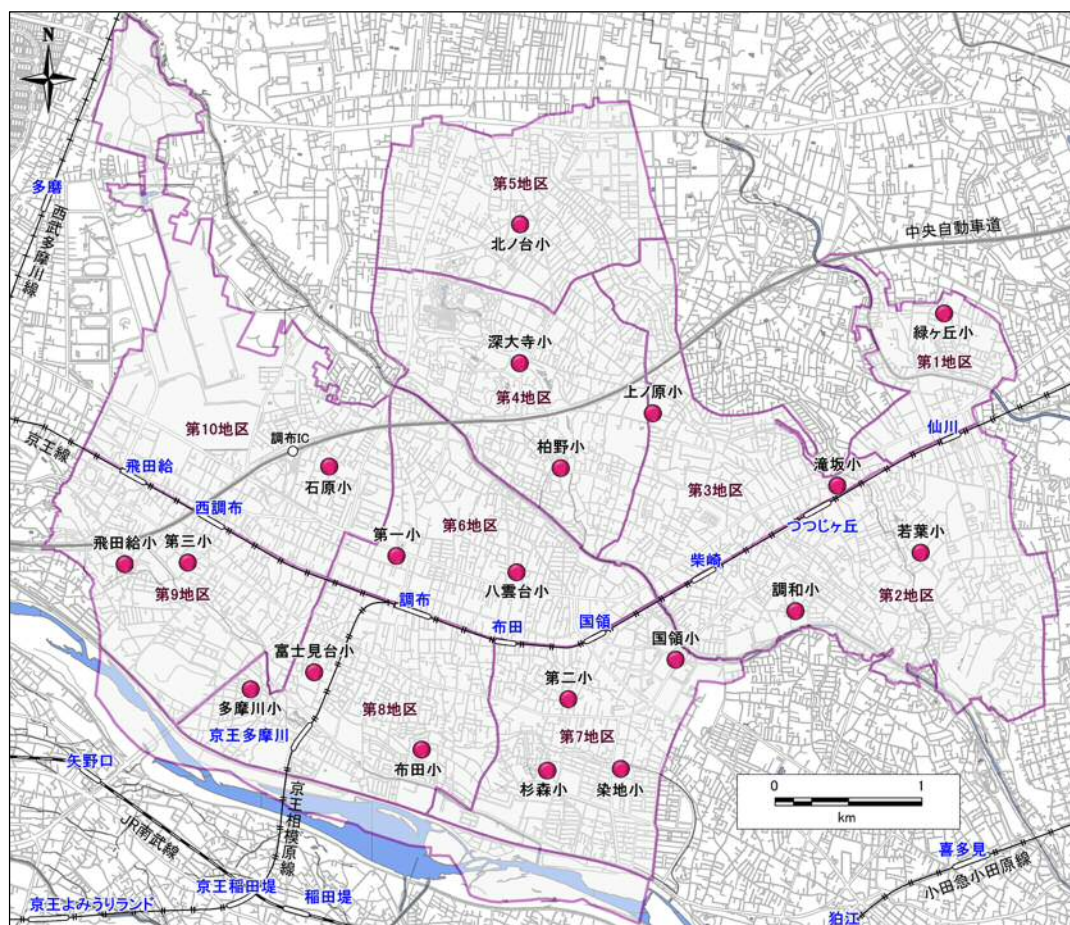


活動状況写真

平成24年度に小学校全20施設への設置が完了しました。

【図表 3-II-256】施設配置図

(各小学校の施設の一部に設置)



【図表 3-II-257】施設配置等に関する情報

施設名称	町丁目	広域的地域 (4区分)	基礎的地域 (10区分)	生活地区 (20区分)	開館時間(通常)	定期休館日(通常)
ユーフォープレイルーム (第一小)	小島町1丁目	南部地域	第6	第一小	平日・土曜 13:30~17:00	日曜・祝日・年末年始
ユーフォープレイルーム (第二小)	国領町4丁目	南部地域	第7	第二小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日 年末年始
ユーフォープレイルーム (第三小)	上石原2丁目	西部地域	第9	第三小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日及び 学校休業日・年末年始
ユーフォープレイルーム (八雲台小)	八雲台1丁目	南部地域	第6	八雲台小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日 年末年始
ユーフォープレイルーム (富士見台小)	小島町3丁目	南部地域	第8	富士見台小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日 年末年始
ユーフォープレイルーム (滝坂小)	東つつじヶ丘1丁目	東部地域	第3	滝坂小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日 年末年始
ユーフォープレイルーム (深大寺小)	深大寺元町5丁目	北部地域	第4	深大寺小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日及び 学校休業日・年末年始
ユーフォープレイルーム (上ノ原小)	柴崎2丁目	北部地域	第3	上ノ原小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日 年末年始
ユーフォープレイルーム (石原小)	富士見町1丁目	西部地域	第10	石原小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日 年末年始
ユーフォープレイルーム (若葉小)	若葉町3丁目	東部地域	第2	若葉小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日 年末年始
ユーフォープレイルーム (緑ヶ丘小)	緑ヶ丘2丁目	東部地域	第1	緑ヶ丘小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日 年末年始
ユーフォープレイルーム (染地小)	染地3丁目	南部地域	第7	染地小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日 年末年始
ユーフォープレイルーム (北ノ台小)	深大寺北町2丁目	北部地域	第5	北ノ台小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日 年末年始
ユーフォープレイルーム (多摩川小)	多摩川3丁目	南部地域	第8	多摩川小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日 年末年始
ユーフォープレイルーム (杉森小)	染地2丁目	南部地域	第7	杉森小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日 年末年始
ユーフォープレイルーム (飛田給小)	飛田給3丁目	西部地域	第9	飛田給小	平日 13:30~17:00 土曜 9:00~12:30	日曜・祝日・年末年始
ユーフォープレイルーム (柏野小)	深大寺南町1丁目	北部地域	第4	柏野小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日 年末年始
ユーフォープレイルーム (国領小)	国領町8丁目	南部地域	第7	国領小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日 年末年始
ユーフォープレイルーム (布田小)	染地1丁目	南部地域	第8	布田小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日 年末年始
ユーフォープレイルーム (調和小)	西つつじヶ丘4丁目	東部地域	第2	調和小	平日 13:30~17:00	土曜・日曜・祝日 年末年始

(2) 土地の状況

20 施設のうち、第二小及び国領小ユーフォーの2施設は学童クラブの敷地に立地しており、その他の18施設は小学校の敷地に立地しています。

(3) 施設・建物の状況

1) 施設量及び施設形態

ユーフォープレイルームの多くは小学校の施設の一部を利用して設置していますが、第三小、八雲台小、深大寺小の施設については、小学校の建物とは別の建物（以下「専用建物」）を使用しています（【図表 3-II-258】は、これに該当する建物のみ掲載。別途小学校の建物の情報については、134~136 ページを参照）。

ユーフォープレイルームはすべて複合施設となっており、小学校、学童クラブ、ふれあい給食室と複合しています。

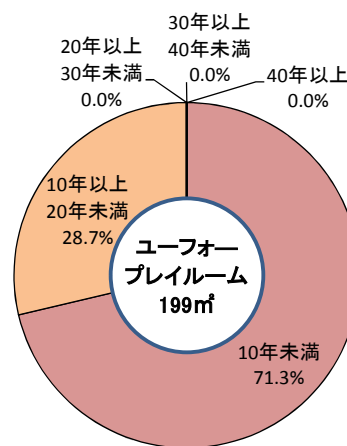
【図表 3-II-258】施設量及び施設形態に関する情報

施設名称	建物名称	施設専有延床面積 (㎡)	建物全体延床面積 (㎡)	保有形態	施設形態	構造	地上階数	地下階数
ユーフォープレイルーム(第三小)	ユーフォープレイルーム(第三小)・学童クラブ	57.00	181.44	市保有	複合施設	LGS	2	0
ユーフォープレイルーム(八雲台小)	ユーフォープレイルーム(八雲台小)	65.60	116.64	市保有	単独施設	LGS	1	0
ユーフォープレイルーム(深大寺小)	ユーフォープレイルーム(深大寺小)・学童クラブ	76.20	286.74	市保有	複合施設	LGS	2	0
合計		198.80	584.82					

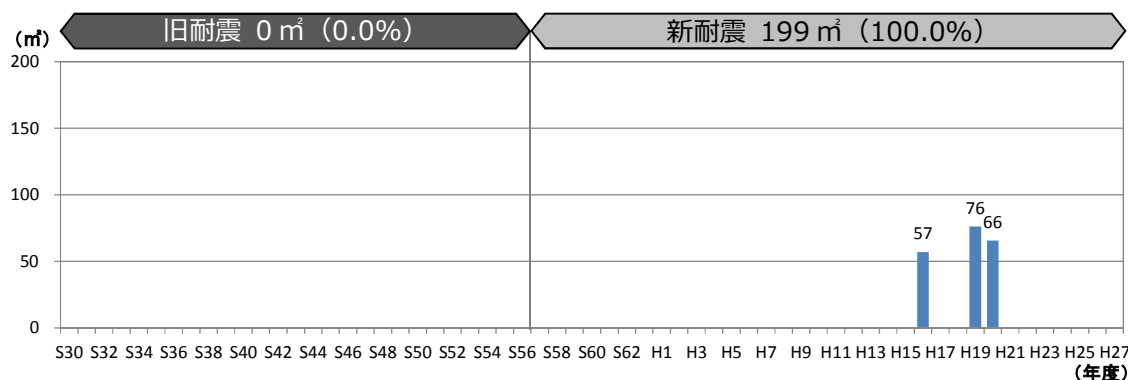
2) 建物性能

第三小、八雲台小、深大寺小のユーフォープレイルームについては、全て建設後経過年数が10年以下の建物であり、新耐震基準を満たしています。

【図表 3-II-259】建設後経過年数の割合 (市有施設の集計)



【図表 3-II-260】建設年度別延床面積 (市有施設の集計)



【図表 3-II-261】建物性能に関する情報

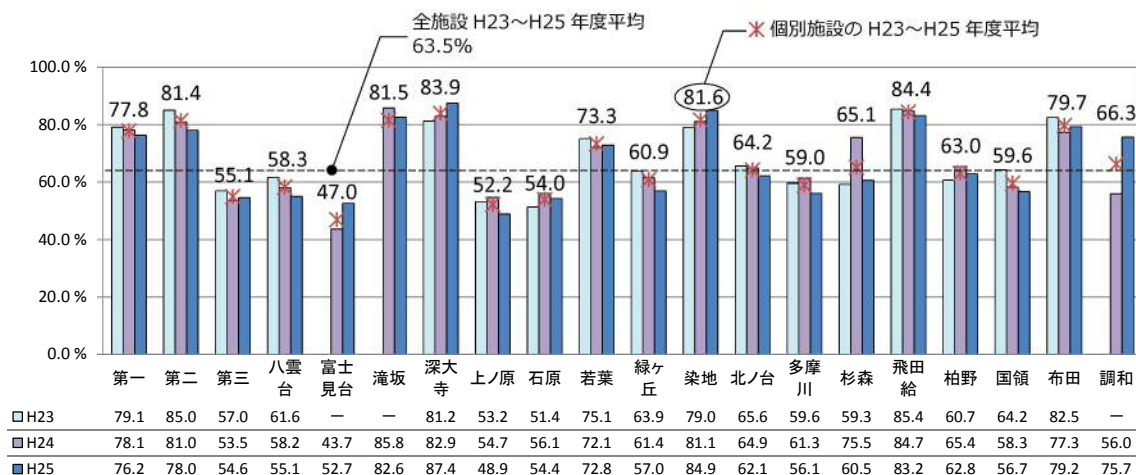
施設名称	建物名称	建設時期		耐震基準	バリアフリー対応の状況						
		建設年度	経過年数		玄関	駐車場	通路	階段	EV	WC	標示
ユーフォープレイルーム(第三小)	ユーフォープレイルーム(第三小)・学童クラブ	H16	10	新耐震	-	-	-	-	-	-	-
ユーフォープレイルーム(八雲台小)	ユーフォープレイルーム(八雲台小)	H20	6	新耐震	-	-	-	-	-	-	-
ユーフォープレイルーム(深大寺小)	ユーフォープレイルーム(深大寺小)・学童クラブ	H19	7	新耐震	-	-	-	-	-	-	-

(4) 施設利用の状況

1) 登録率

ユーフォープレイルームは登録制の施設であり、登録率は、全施設の平成23年度～平成25年度の平均で63.5%です。80%を超える学校がある一方で、50%前後の学校もあるなど、学校によって登録率には違いが見られます。

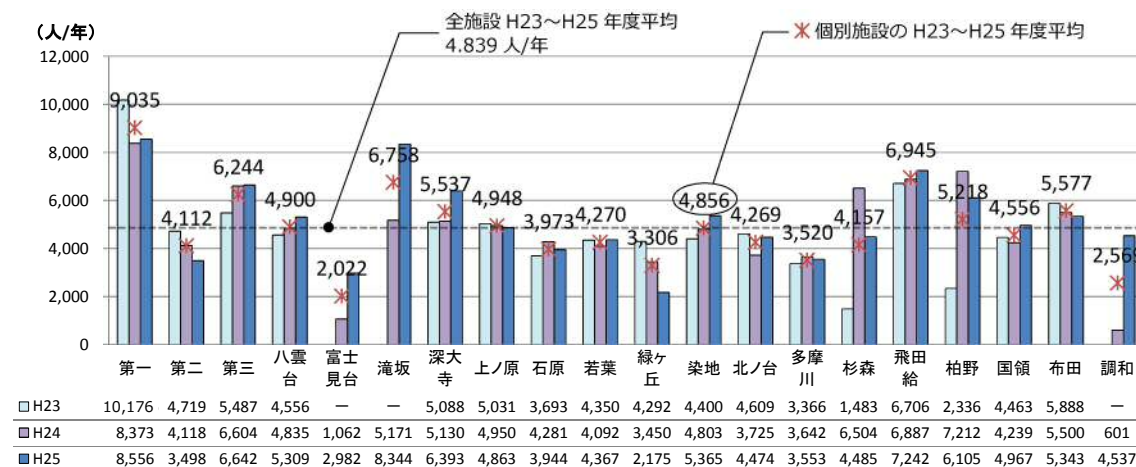
【図表 3-II-262】登録率の各校比較



2) 延参加人数

1 施設当たりの延参加人数は、平成23年度～平成25年度の平均で約4,840人/年です。

【図表 3-II-263】延参加人数の各校比較



(5) 管理運営状況

1) 管理運営の概要

ユーフォープレイルームの施設管理は市の直営です*。

*平成27年度から学童クラブと連携した事業を実施するため、すべての施設について事業者に業務委託しています。

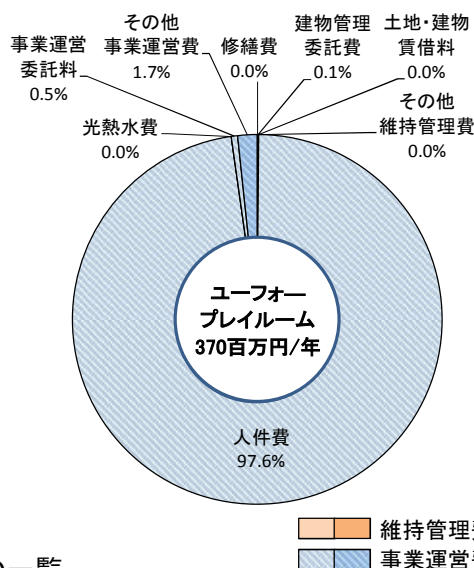
2) 施設の維持における年間コスト

ユーフォープレイルーム全体における年間の管理運営費（維持管理費+事業運営費）は、平成23年度～平成25年度の平均で約3億7,000万円であり、そのうちの97.6%(約3億6,200万円)を人件費が占めています。

施設整備相当額を含むフルコストは、年間約3億7,200万円となります。

管理運営費から補助金を差し引いた純コストは年間約3億3,600万円です。

【図表 3-II-264】年間の管理運営費の内訳
(平成23年度～平成25年度の平均)



【図表 3-II-265】施設の維持における年間コストの一覧

(平成23年度～平成25年度の平均)

単位:千円/年

施設名称	運営形態	維持管理費(a)	事業運営費(b)	管理運営費(c) =a+b	施設整備相当額/年(d)	フルコスト(e) =c+d	事業収入(f)	純コスト(g) =e-f
ユーフォープレイルーム(第一小)	直営	21	24,584	24,605	0	24,605	1,703	22,902
ユーフォープレイルーム(第二小)	直営	21	17,084	17,105	0	17,105	1,703	15,402
ユーフォープレイルーム(第三小)	直営	21	17,084	17,105	380	17,485	1,703	15,402
ユーフォープレイルーム(八雲台小)	直営	21	22,084	22,105	437	22,543	1,703	20,402
ユーフォープレイルーム(富士見台小)	直営	21	20,418	20,439	0	20,439	1,703	18,735
ユーフォープレイルーム(滝坂小)	直営	21	20,418	20,439	0	20,439	1,703	18,735
ユーフォープレイルーム(深大寺小)	直営	21	17,084	17,105	508	17,613	1,703	15,402
ユーフォープレイルーム(上ノ原小)	直営	21	17,084	17,105	0	17,105	1,703	15,402
ユーフォープレイルーム(石原小)	直営	21	17,084	17,105	0	17,105	1,703	15,402
ユーフォープレイルーム(若葉小)	直営	21	17,084	17,105	0	17,105	1,703	15,402
ユーフォープレイルーム(緑ヶ丘小)	直営	21	17,084	17,105	0	17,105	1,703	15,402
ユーフォープレイルーム(染地小)	直営	21	22,084	22,105	0	22,105	1,703	20,402
ユーフォープレイルーム(北ノ台小)	直営	21	17,918	17,939	0	17,939	1,703	16,235
ユーフォープレイルーム(多摩川小)	直営	21	20,418	20,439	0	20,439	1,703	18,735
ユーフォープレイルーム(杉森小)	直営	21	16,668	16,689	0	16,689	1,703	14,985
ユーフォープレイルーム(飛田給小)	直営	21	19,584	19,605	0	19,605	1,703	17,902
ユーフォープレイルーム(柏野小)	直営	21	16,668	16,689	0	16,689	1,703	14,985
ユーフォープレイルーム(国領小)	直営	21	17,084	17,105	0	17,105	1,703	15,402
ユーフォープレイルーム(布田小)	直営	21	17,084	17,105	0	17,105	1,703	15,402
ユーフォープレイルーム(調和小)	直営	21	15,418	15,439	0	15,439	1,703	13,735
合計		414	370,023	370,437	1,325	371,763	34,067	336,370

3) 単位当たりコスト

ユーフォープレイルーム全体の年間の純コストを市民1人当たりが負担する額に換算すると、約1,500円/人・年、1施設当たり平均75円/人・年になります。

(6) 今後見込まれる改修・更新費の試算

第三小，八雲台小，深大寺小のユーフォープレイルームの改修・更新（建替え）における将来経費を【図表3-I-24】（35ページ）の計算方法で形式的に試算した場合，平成27年度以降，今後20年間で約1,400万円の改修費の発生が見込まれます。

【図表3-II-266】改修・更新経費の試算

金額の単位：百万円

	改修費	更新費	合 計	
			発生額	割合
1～10年目	0	0	0	0.0%
11～20年目	14	0	14	11.0%
21～30年目	35	0	35	27.4%
31～40年目	0	0	0	0.0%
41～50年目	0	23	23	17.6%
51～60年目	0	57	57	43.9%
総計	50	80	129	100.0%

(7) ユーフォープレイルームにおける課題認識

1) 施設の性能・機能の視点からの課題

参加児童数には増加の傾向が見られ，また，学童クラブとの併設により，両事業での連携したイベント企画など児童の交流が図りやすくなることを考えると，今後も引き続き，教室の有効活用等を行いながら，事業の推進によって児童の健全な育成に寄与することが求められます。

11-5. その他の社会教育施設

(1) 施設の概要

青少年交流館は、青少年が気軽に立ち寄り自由に活動できる場として、旧制小学校時代の教育者から土地の寄贈を受けて市が設置しています。多目的室、集会室、パソコンコーナーを無料で利用できる環境を整えており、一般の団体も利用できます。



青少年交流館

八ヶ岳少年自然の家は、山梨県八ヶ岳山麓の自然の中にあり、林間学園寮を前身として、国が定める少年自然の家の基準に準じて開設しました。客間 32 部屋と浴場、食堂、体育館からなり、少年団体の集団宿泊生活による教育の場として利用できるほか、年間を通じて一般利用も可能な休暇村としての機能を持っています。



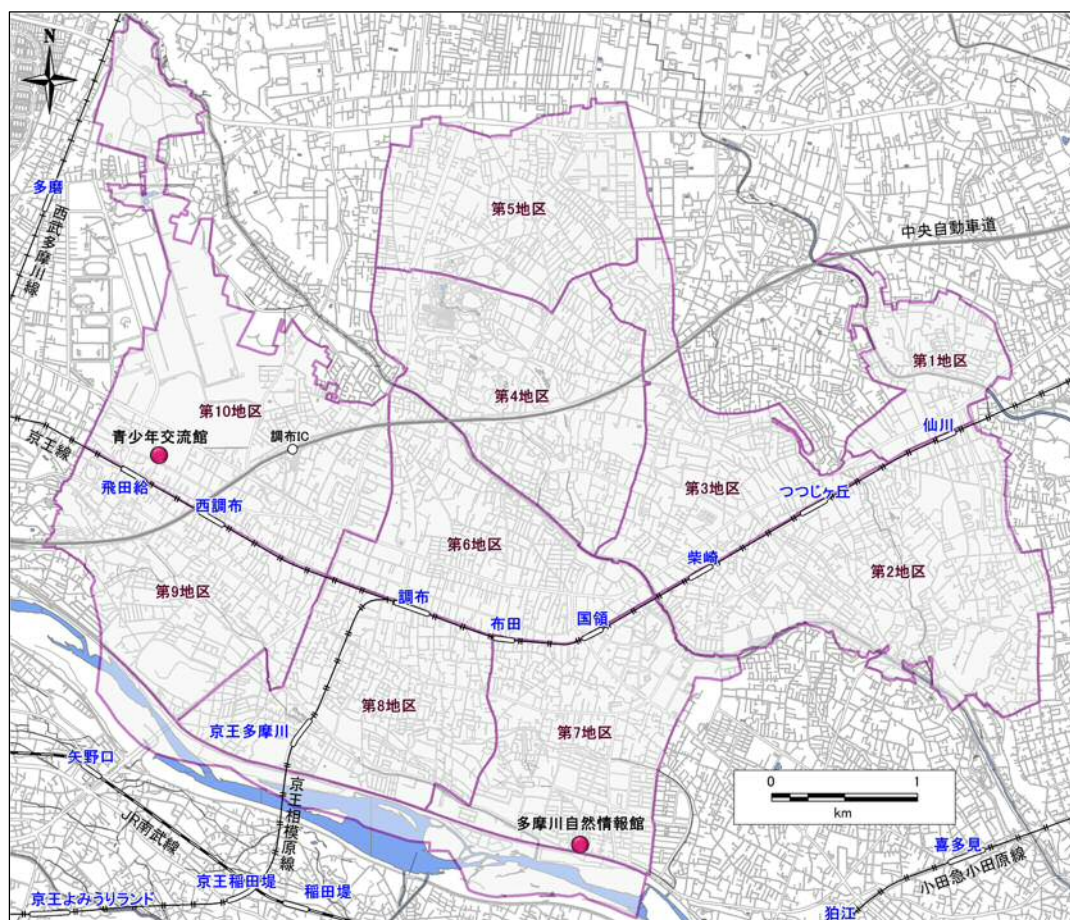
八ヶ岳少年自然の家

多摩川自然情報館は、多摩川沿いに立地した環境学習施設です。子どもから大人を対象に、主に多摩川を活かした多様な環境学習プログラム等を提供しています。



多摩川自然情報館

【図表 3-II-267】施設配置図



【図表 3-II-268】施設配置等に関する情報

施設名称	町丁目	広域的地域 (4区分)	基礎的地域 (10区分)	生活地区 (20区分)	開館時間(通常)	定期休館日(通常)
青少年交流館	飛田給1丁目	西部地域	第10	飛田給小	平日・土曜・日曜・祝日 10:00~22:00	年末年始
八ヶ岳少年自然の家	(市外)	(市外)	(市外)	(市外)	24時間	8月を除く毎月第2火曜及 びその翌日・年末年始
多摩川自然情報館	染地3丁目	南部地域	第7	杉森小	平日・土曜・日曜・祝日 9:00~17:00	年末年始

(2) 土地の状況

青少年交流館及び多摩川自然情報館の敷地は全て市有地です。

八ヶ岳少年自然の家の敷地は山梨県の恩賜県有財産であり、平成56年度まで借用契約を締結しています。

【図表 3-II-269】土地の状況に関する情報

施設名称	敷地の保有形態	敷地面積(m ²)	市有地面積(m ²)	市有地の割合(%)	【参考】主な用途地域 ()内は建ぺい率、容積率
青少年交流館	全て市有地	277.38	277.38	100.0%	第一種低層住居専用地域(40%, 80%)
八ヶ岳少年自然の家	全て借地	20,719.00	-	-	市外
多摩川自然情報館	全て市有地	1,325.15	1,325.15	100.0%	第一種低層住居専用地域(40%, 80%)
合計		22,321.53	1,602.53	7.2%	

(3) 施設・建物の状況

1) 施設量及び施設形態

建物は全て市が保有しています。多摩川自然情報館については、染地ふれあいの家及び障害福祉サービス施設との複合施設です。

【図表 3-II-270】施設量及び施設形態に関する情報

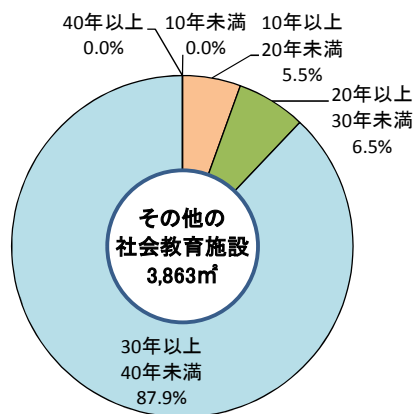
施設名称	建物名称	施設専有延床面積(m ²)	建物全体延床面積(m ²)	保有形態	施設形態	構造	地上階数	地下階数
青少年交流館	青少年交流館	213.58	213.58	市保有	単独施設	RC	2	0
八ヶ岳少年自然の家	八ヶ岳少年自然の家(宿泊施設)	2,756.60	2,756.60	市保有	単独施設	RC	3	1
	八ヶ岳少年自然の家(体育館)	640.17	640.17	市保有	単独施設	RC	1	0
多摩川自然情報館	多摩川自然情報館・染地ふれあいの家・障害福祉サービス施設	252.98	625.08	市保有	複合施設	RC	2	0
合計		3,863.33	4,235.43					

2) 建物性能

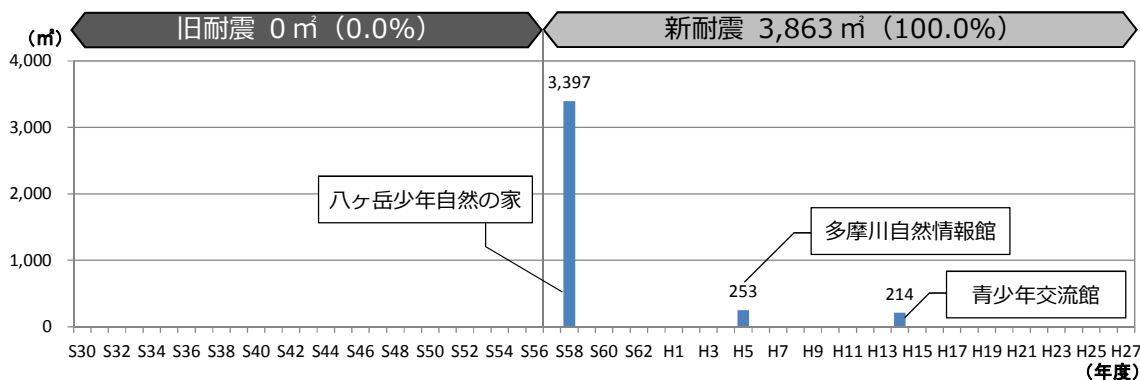
その他の社会教育施設のうち、八ヶ岳少年自然の家は建設後 30 年以上が経過しています。

全ての建物が新耐震基準を満たしています。

【図表 3-II-271】建設後経過年数の割合 (市有施設の集計)



【図表 3-II-272】建設年度別延床面積 (市有施設の集計)



それぞれの施設については、駐車場を除き概ねバリアフリーに対応しています。

【図表 3-II-273】建物性能に関する情報

施設名称	建物名称	建設時期		耐震基準	バリアフリー対応の状況						
		建設年度	経過年数		玄関	駐車場	通路	階段	EV	WC	標示
青少年交流館	青少年交流館	H14	12	新耐震	○	×	○	○	-	○	○
八ヶ岳少年自然の家	八ヶ岳少年自然の家(宿泊施設)	S58	31	新耐震	○	×	○	△	-	○	△
	八ヶ岳少年自然の家(体育館)	S58	31	新耐震	○	×	○	-	-	-	△
多摩川自然情報館	多摩川自然情報館・染地ふれあいの家・障害福祉サービス施設	H5	21	新耐震	○	-	○	○	○	○	△

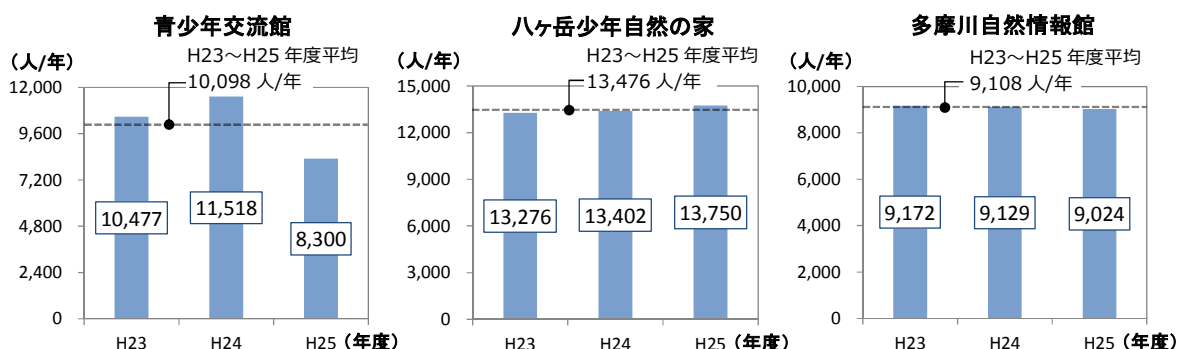
(4) 施設利用の状況

青少年交流館の年間来館者数は平成23年度～平成25年度の平均で約1万100人/年となっています。

八ヶ岳少年自然の家の年間来館者数は同年度間の平均で約1万3,500人/年となっています。

多摩川自然情報館の年間来館者数は同年度間の平均で約9,110人/年となっています。

【図表 3-II-274】年間来館者数の推移



(5) 管理運営状況

1) 管理運営の概要

青少年交流館は管理・運営を業務委託しています。

八ヶ岳少年自然の家は民間企業が指定管理者となり、管理・運営を行っています。

多摩川自然情報館は展示等業務を民間事業者へ業務委託しており、学習施設の利用受付などの管理業務については、NPO法人へ業務委託しています。

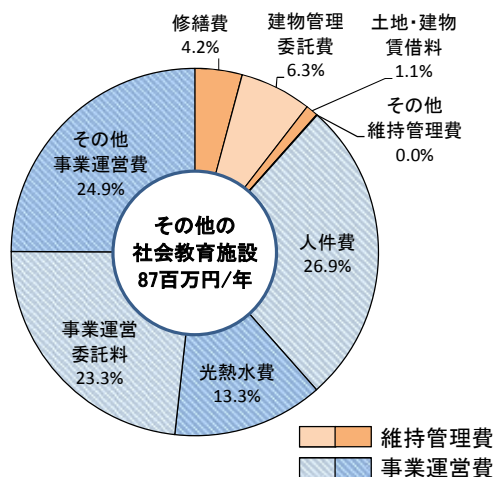
2) 施設の維持における年間コスト

その他の社会教育施設全体における年間の管理運営費は、平成23年度～平成25年度の平均で約8,660万円であり、そのうちの26.9%（約2,330万円）を人件費、24.9%（約2,160万円）をその他事業運営費、23.3%（約2,020万円）を事業運営委託料が占めています。

施設整備相当額を含むフルコストは、年間約1億1,200万円となります。

管理運営費から使用料等を差し引いた純コストは、年間約2,160万円です。

【図表 3-II-275】年間の管理運営費の内訳
(平成23年度～平成25年度の平均)



【図表 3-II-276】施設の維持における年間コストの一覧

(平成 23 年度～平成 25 年度の平均)

単位:千円/年

施設名称	運営形態	維持管理費(a)	事業運営費(b)	管理運営費(c) =a+b	施設整備相当額/年(d)	フルコスト(e) =c+d	事業収入(f)	純コスト(g) =e-f
青少年交流館	委託	613	11,310	11,923	1,424	13,347	146	11,778
八ヶ岳少年自然の家	指定管理者	7,926	54,012	61,938	22,645	84,583	59,974	1,964
多摩川自然情報館	委託	1,514	11,246	12,760	1,687	14,447	4,878	7,882
合計		10,053	76,568	86,621	25,756	112,377	64,998	21,623

3) 単位当たりコスト

利用者 1 人当たりにおける純コストは、平成 23 年度～平成 25 年度の平均で、青少年交流館が年間約 1,170 円/人、八ヶ岳少年自然の家が年間 146 円/人、多摩川自然情報館が年間 865 円/人となっています。

【図表 3-II-277】単位当たりコストの一覧 (平成 23 年度～平成 25 年度の平均)

施設名称	1㎡当たり維持管理費(円/㎡・年)	1㎡当たり事業運営費(円/㎡・年)	1㎡当たり管理運営費(円/㎡・年)	市民1人当たりフルコスト(円/人・年)	市民1人当たり純コスト(円/人・年)	利用者1人当たり純コスト(円/人・年)
青少年交流館	2,872	52,954	55,826	60	53	1,166
八ヶ岳少年自然の家	2,333	15,901	18,234	377	9	146
多摩川自然情報館	5,985	44,454	50,439	64	35	865

(6) 今後見込まれる改修・更新費の試算

その他の社会教育施設の改修・更新(建替え)における将来経費を【図表 3-I-24】(35 ページ)の計算方法で形式的に試算した場合、平成 27 年度以降、今後 20 年間で約 9 億 6,600 万円の改修費の発生が見込まれます。更新費が集中するのは、21～30 年目の期間になります。

【図表 3-II-278】改修・更新経費の試算

金額の単位:百万円

	改修費	更新費	合計	
			発生額	割合
1～10年目	912	0	912	36.3%
11～20年目	53	0	53	2.1%
21～30年目	0	1,359	1,359	54.1%
31～40年目	0	101	101	4.0%
41～50年目	0	85	85	3.4%
51～60年目	0	0	0	0.0%
総計	966	1,545	2,511	100.0%

(7) その他の社会教育施設における課題認識

1) 施設の性能・機能の視点からの課題

八ヶ岳少年自然の家について、今後も計画的な保全が必要となります。